

会 議 録

会議の名称	平成 29 年度 第 7 回 西方地域会議
開催日時	平成 29 年 11 月 22 日 19 時 00 分 ～ 20 時 8 分
開催場所	西方公民館 2 階大会議室
出席者氏名	青木 利男 荒木 正孝 石田 勝英 大塚 孝司朗 荻原 幸一 神永 晴美 川島 博 川島 基巳 嶋田 壽男 柳澤 恵子 山ノ井 一男
欠席者氏名	荒川 里子 飯沼 邦章 駒場 威 渡邊 奈緒子
事務局職員職氏名	西方地域づくり推進課長 田口 幸雄 西方地域づくり推進課長補佐 中野内 重雄 西方地域づくり推進課主査 狐塚 浩
その他出席者等	消防総務課長補佐 小川 信幸 消防総務課主事 柏崎 慎太郎
会議事項	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 意見聴取事項 ① 栃木市消防団再編計画 (案) について 4 その他 (1) 委員報告 (2) 事務連絡 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	—
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
進行：事務局 会長	1 開会 (19:00~) 2 あいさつ 大塚会長よりあいさつがあった。 3 議事

<p>会長</p> <p>消防総務課</p>	<p>(1) 意見聴取事項</p> <p>① 栃木市消防団再編計画（案）について 〈説明〉</p> <p>担当課に対し説明を求める。</p> <p>資料に基づき、栃木市消防団再編計画（案）の概要説明があった。</p> <p>[栃木市消防団再編計画（案）概要]</p> <p>市では、人口減少及び社会情勢等、消防団を取り巻く環境は大きく変化してきており、地域によっては、消防団組織が成り立たなくなることを懸念している。そのため、限られた資源の中で、市民より期待される迅速で効率的な災害対応を行うため、指揮命令系統の一本化及び旧市町の境界にとらわれない出動体制を構築する必要がある。</p> <p>○消防団の組織再編</p> <p>1. 基本的な方針</p> <p>(1) 消防団員の確保</p> <p>栃木市消防団サポート事業や機能別消防団員制度を導入し団員確保に努めている。今後はこれらの施策の充実を図る。</p> <p>(2) 指揮命令系統の一本化</p> <p>現在の方面隊の枠組みを見直し、指揮命令系統の一本化に向けた協議を進める。</p> <p>(3) 出動区域の見直し</p> <p>旧市町の区域を越えた柔軟で効率的な出動体制を構築する。</p> <p>(4) 分団・部の統合等及び消防団員数の見直し</p> <p>地元自治会と消防団の意見をもとに、分団・部の統合等を行い、分団・部を支える母体を大きくし、定員の見直しを行うことで組織の維持を目指す。</p> <p>(5) 消防団施設等の更新</p> <p>消防団機械器具置場及び消防団車両の老朽化が進んでいるため計画的に更新をしていく。</p> <p>○パブリックコメント</p> <p>期間 平成29年12月20日（水）～平成30年1月19日（金）</p> <p>〈質問・意見〉</p>
<p>会長</p>	<p>委員に対し質問、意見を求める。</p>
<p>委員</p>	<p>組織再編するにあたり重要となる消防団員の確保について、例えば手当の見直し等、もう少し具体的な方策を入れた計画案を作っていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>再編にあたっては団員の確保が核となると思われるので、そのところをもう少しお考えいただきたい。</p>

委員	新しい体制になると方面隊がなくなるということか。
消防総務課	現在6つある方面隊体制を廃止し、一つの組織にする。
委員	団員も削減されるのか。
消防総務課	現在19名いる団本部を7名体制に見直す。
委員	団員の確保が困難なのであれば、消防団OBを取り込んだ組織にする等の対応でこのような見直しをせずに済むのではないか。
消防総務課	定員割れしている分団では、すでに消防団経験5年以上のOBの方々を機能別消防団員として任命し組織化されている。
委員	団員になる人が少ないから分団を統合するという考えばかりになると、地元をよく知る団員がいなくなることが懸念される。たとえ少数でも地元をよく知る団員は必要である。特に西方地域では西方分署と都賀分署が統合し一つになるということなので、なおさら必要になってくるのではないか。
消防総務課	西方地域に関しては、まだ団員数を維持できるということで今回の再編の中で分団の統合等はないが、そういうところに関しては増強部隊が出られるようにしていく。
委員	団員の確保が困難だという一方で、副団長を減らすというのはどうなのか。単に経費削減のためのように思えるが。
消防総務課	栃木市消防団は、合併があり他市町の消防団と比較して幹部団員が多いといった実情がある。団員の確保が困難と言っているのは、実際の現場で活動する団員のことだにご理解いただきたい。削減の対象となる団員についても今後もどこかの団に所属し団員として残っていただくことは可能である。
委員	消防団の組織図に女性分団とあるが、実際の現場で女性だけの活動は難しいのではないか。分団である以上、他の分団と同じような活動をするようになると思うが、防火啓発活動のみであるならば、女性団員も各分団に所属した上で防火啓発活動の際には女性部として活動できるようにした方がよいのではないか。
消防総務課	女性分団については、消防車両を配備しておらず災害時の出動はしていない。主に防火啓発や防災訓練時の救命講習等を実施している。 女性団員は各地域ごとに確保できているわけではないこともあり、現状のような組織となっている。

委員	<p>先ほど団本部が19名から7名になるという説明があったが、その体制になることで団運営に不都合は生じないのか。</p> <p>また、団員の確保については、やはりもう少し詳細な方策を計画しておいた方がよい。消防操法訓練などは団員が集まらない原因になっているのではないのか。</p>
消防総務課	<p>消防操法訓練については基本的なホースの伸ばし方を覚えるもの。各地域や市で操法大会を開催しており、それに向けて団員が一生懸命訓練に励んでいる。それは非常にありがたいことであるが、確かにそれが負担になっているとも感じる。</p>
委員	<p>大会等を開催しないで基本動作を覚えさせることはできないのか。</p>
消防総務課	<p>消防団からは大会をやりたいといった意見がある。</p>
委員	<p>それが団員が入りづらい要因になっているかもしれないが。</p>
消防総務課	<p>それも踏まえて検討していきたい。</p>
委員	<p>私自身も以前消防団に入っていたが、欠員というのは市の方で決めた人員に満たないというだけで、実際には活動できる人員に足りていることが重要である。ただ人員を確保しても、日中など地元人がいない時に現場に出られない団員ばかりでは意味がない。報酬を上げてでも日中確実に現場に出られる団員を確保したほうがよい。</p>
委員	<p>以前、近隣の火災現場で交通整理をしたことがある。実際の現場では警察もすぐには来ないので、消防に関してボランティア活動をしていただける人を募って組織化してもよいのではないのか。</p>
会長	<p>他にご質問がなければ、担当課の方にはご退席いただく。ありがとうございました。</p> <p>それでは、意見聴取ですので、何か意見があるか。</p> <p>先ほど意見があったが、この計画には消防団員確保の具体的な方策についての記載が一切ないので、そのあたりを入れていただきたい。</p>
委員	<p>自治会長へのアンケート結果を見ると西方地域では団員確保に自治会がかかわっていない割合が高いので、団員確保にあたっては自治会への協力要請をした方がいいのではないのか。</p>
委員	<p>それについては各自治会の考えもある。</p>

委員	このアンケート結果は、西方地域では自治会に頼らなくてもある程度の団員確保ができていているという意味もあると思う。
会長	それでは、当会議からの意見として、栃木市消防団再編計画（案）については適当と認め、但し書きとして、消防団員確保についてはより具体的な方策を示すよう検討いただくということによろしいか。
各委員	異議なし
会長	異議はないようですので、そのような回答をいたします。
	4 その他
	(1) 委員報告
委員	・にしかたわくわく隊会長 柳澤委員より西方ふれあいパーククリーン作戦の事業報告があった。
委員	・山ノ井委員より、栃木市総合計画後期基本計画策定懇談会の会議結果報告があった。
会長	・大塚会長より、栃木市斎場再整備検討委員会の会議結果報告があった。
	(2) 事務連絡
事務局	・次回の地域会議開催予定 平成30年1月25日（木）午後7時～ 西方公民館2階大会議室
	5 閉会（～20:08）
事務局	以上で本日の会議は全て終了する。